

チャットルーム

日時 12月1日(土) AM10:00~12:00

場所 海老名市総合福祉会館

参加委員 佐藤・徳永 参加者 4名

Aさん(58)厚木市在住

○ 今までの経過

19年前にRAOの手術を受けた。その脚にH. 24年春、人工関節置換術を受けた。術後の痛みはない。

○ 相談内容

知り合いの中に、感染症にかかった人や術後の状態の悪い人がいるので、自分もと心配になる。

若い時にRAOの手術を受けても脚の状態が悪くなり、人工関節の手術を受ける人がいる。若くてRAOを受ける人に、会としてのアドバイスはどのようにするのか。

○ アドバイス

感染症は、術後すぐだけでなく、いつでも危険な状況にある。食生活や体調管理に気をつけ、菌に強い体にしておく事が大事です。

RAOの件は、会としてもこれからの講演会などで、先生方にアプローチして行きたいと思います。

Bさん(40代)相模原市在住

○ 今までの経過

4~5年通院しているが、股関節には軟骨が残っており、現時点では手術をする程ではない。膝痛もあり軟骨の摩耗がある。歩行時は杖を使用している。

○ 相談内容

最近は股関節より膝の状態が悪いので、対処法を知りたい。病院が担当医制ではないので、受診の度、一から状態を説明する必要があり、合理的ではない。指導もないので、不安が解消されない。

○ アドバイス

一生付き合う病なので、信頼できる、自分と相性のいい先生を捜しては。病院を変えるのも一考かもしれません。

膝は筋トレをして、筋力強化に努めましょう。痛みが軽減されると思います。

(具体的な筋トレ法を参加者の前でレクチャーした)

Cさん（63）伊勢原市在住

○ 今までの経過

先天性股関節脱臼。坐骨神経痛、右膝痛及び右股関節痛。左股関節は変形初期。股関節痛はあまり強くないが、筋力が低下し歩行に力が入らず、両杖で歩行。

○ 相談内容

脚の手術を検討しているが、術前に歯の治療も必要。心臓疾患や骨粗鬆症も指摘されているが、歯の治療との兼ね合いで、骨粗鬆症の薬が飲めない。このままでは、手術が出来ないのではないか。家事にも影響があるので、障害者認定を受けたい。

○ アドバイス

歯の治療は、感染症予防のためにも、きちんとしましょう。体に不調な部位が多ければ、バックアップ体制の整った病院選びをする必要があります。

筋力強化や日光浴、食事にも気を配りましょう。

障害者認定は、現状を主治医によく相談してみましょう。

Dさん（69）

○ 今までの経過

最初、右膝痛を発症。5年間、ヒアルロン酸注入や電気治療を行う。その後、腰痛、左股関節痛になり、保存療法に努めてきた。が、状態悪化のため2011年4月に左人工股関節置換術を受けた。

○ 現在の状態

術後、すぐに痛みがとれて、とても良い状態。

○ アドバイス

無理をせず趣味を楽しみながら、現状維持に努めてください。